

学校だより



〈いよくふう〉

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和6年12月2日(月) 第8号

人生は『選択』の連続

校長 二瓶 亮

12月に入ると時の流れの速さを感じながら、この1年を振り返る機会が増えます。皆さんにとって、2024年はどんな1年でしたでしょうか。私には今年も様々な人たちや物、そして機会(チャンス)との出会いがありました。どの出会いも自分の人生を豊かにしてくれる可能性を持ったものでしたが、実際は全てを受け止められるだけの度量も余裕もなく、やむなく諦めるという選択をしたこともありました。改めて考えてみると、人生は『選択』の連続であると感じます。

アメリカ球界大リーグで活躍中の大谷翔平選手がチームとして大リーグチャンピオンとなり、個人では年間最優秀選手(MVP)を受賞しました。大谷選手は海を渡り、大リーグでも二刀流に挑戦する選択をしました。当初その挑戦に対しては「無理だ」「できっこない」という声が多かったものの、成績を残すことで周囲を黙らせ、逆に多くのファンを獲得しました。彼は個人タイトルをいくつか獲得しましたが、チームとしてのタイトルとは縁がなかったため、今年チームを移籍しました。そしてすぐに結果を出し、願いも叶えてしまいました。チームを移籍するという選択、また、今シーズンは腕の手術の影響で投手は出来ないという状況を、打者に徹すること、塁に出たら盗塁をしてチームの勝利に貢献することに切り替えて(選択して)チームの優勝と50&50(本塁打50本以上と盗塁50個以上を同時に達成すること)という前人未踏の記録を手に入れました。自分の願いを叶えるための選択、自分の能力を最大限に発揮するための選択が間違っていなかったことを不断の努力によって証明しました。

先月25日に実施した「ふれあい講演会」の講師としてお招きした(株)SELECT 代表取締役の岡晃貴氏も、その講演会の中で「人生を楽しむためにする『選択』には自分で責任を持つ」とおっしゃっていました。岡さんの行動力の源は「好奇心」、その時やりたい、やってみたいことを「選択」した結果、大学卒業後は小学校の教師やYou Tuber、IT企業勤めなどを経て、現在の会社経営に至るそうで、「人生を楽しむために仕事をしてきた」というお話でした。また、30歳の時に目に障害が見つかりますが、「障害を生涯楽しもう」という考えのもとで、ロービジョンサッカーと出会い、2023年にはロービジョンフットサル世界選手権に日本代表として出場し、ベスト4までコマを進めたそうです。演題「自分が決めた人生でワガママに生きる」には常識にとらわれず、ワガママに(自分らしく)生きることが大切だというメッセージが込められていると感じました。

二人の生き方の共通点は人生を歩む上で自分が選択して決めた道に責任を持ち、その道を究めようと努力して栄光や楽しみをつかんでいることだと思います。人生は「選択」の連続、「自分の『選択』に責任を持つ」生き方に学ぶべき点がたくさんあると感じました。

2学期のゴールが見えてきました。3年生は卒業後の進路選択を決定し、その実現に向けて努力を積み重ねていく時期です。1, 2年生は3学期にそれぞれ行うスキー教室、東京校外学習に向けての準備が佳境に入ってきます。自分のためにすべきこと、仲間のために行動すること、学年のために協力すること、それぞれ自分には何が出来るかを『選択』しながら、2学期の終わりまで成長し続ける吹中生であって欲しいと願います。普段自分を支えてくれている周囲への感謝も忘れずに残りの3週間を過ごしてください。保護者、地域の皆様には、引き続き吹上中学校への応援をよろしく願います。

